

# 無 聖

第72号



◆ 「自己を磨き 他に尽くさん」 会長 北村 暁秀 ……………2	◆ 教化研修会報告書 …………… 9
◆ 第21回チャリティーバザー開催報告 ……………3	◆ 教化活動報告 …………… 10
◆ 平成27年度 第二回研修会報告 ……………4	◆ サンタピアップみやぎ活動報告 …… 11
◆ 傾聴活動報告 ……………5	◆ 事務局だより …………… 12
◆ 東日本大震災 被災地慰霊行脚・法要 並びに「亡き人への手紙」お焚き上げ供養報告 ……6	





会長挨拶

# 自己を磨き 他に尽くさん

第24期会長 法山寺 副住職

北村 暁秀

**今**期はスローガン「自己を磨き他に尽くさん」を掲げて活動しております。言い換えるならば「欣求菩提教化衆生」修行と教化は共にあり、すべての活動が「教化」に適っているかどうかを常に念頭に置いて一年間取り組んで参りました。

①宗侶会員の研修、②特別会員の方々との親睦と相互研修、③カンボジアへの教育支援、④復興支援活動、⑤終戦七十年平和祈念行持、⑥集大成としての宮城大会。いずれも教化という視点を意識して行うことで会員各自がそれぞれの行持に参加しても自坊や師寮寺にフィードバックしてもらえような内容を目指しての活動です。行持の種類ごとに振り返ります。

## ①宗侶会員の研修

○第一回研修会 「供養について」講師 岩手県水沢正法寺 盛田正孝老師  
○第二回研修会 「歎佛会声明」講師 愛知県東郷寺 前川睦生老師

盛田老師には、宗侶は供養の際に何を自らに問い、何をお伝えすることが肝要なのか、永年老師ご自身が実践なさってきたことや具体的な法話を織り交ぜて頂きながらの御教示を賜りました。「信念と確信を持つて供養する」とのお言葉は、参加者にとって非常に大きな御諭しとなったに違いありません。

前川老師にも、供養についての貴重な御教示を頂きつつ宮城大会震災七回忌法要で厳修する歎佛会に向けて、懇切丁寧な声明のご指導を賜りました。声明については来年度も引き続き行う予定で、七回忌はもとより会員諸師が日々の檀務にも活かしていけるものとして企画して参ります。

○第一回教化研修会 「生老病死を分かち合える聖域」寺院を守り抜こう」

講師 行政書士・葬祭カウンセラー 勝桂子氏  
○第二回教化研修会 「僧侶として生死に向き合う」臨床宗教師の現場から

会員大会併設 講師 臨床宗教師 普門寺副住職 高橋悦堂老師

今期特設した教化委員会主催により、勝先生には寺院の抱える具体的な問題や今後の寺院像および維持発展の可能性などの示唆に富んだお話を賜りました。

高橋老師には臨床宗教師として日々実践されている、人々の苦悩に寄り添うことの大切さを御教示賜り、我々宗侶のみならず参加いただいた特別会員の方々にも個々の生き方やありようを自らに問う機縁となったのではないかと思います。二回の研修を通じて、自坊や師寮寺においての自らを深く省みそれぞれが今後のあり方を考えることに通じる研修会となりました。

東日本大震災復興支援活動としては、これまで何度もお邪魔している仮設団地（南方・石巻・多賀城）での傾聴「佛一息（ほっとひといき）」や、全曹青・各単位曹青会の多大なるご協力を賜ったの慰霊行脚を修行。年数が経ち誰も語らなくなってからこそ、これからこそが本当の寄り添いであり私たち地元宗侶の勤めと信じ粛々と修行して参りたく存じます。

②特別会員の方々との親睦と相互研修  
震災後復活して二回目となるソフトボール大会には三〇〇名近い二〇チーム以上のご参加をいただいて、共に汗を流す中で特別会員の方々とも親睦を深めさせて頂きました。

関東・東北豪雨被害に関して、当県内については宗務所と連携協力して被害を把握、茨城・栃木には先遣隊を送りお見舞いと被害状況の把握に努め、その後微々たる活動ではありましたが県内外共に清掃や傾聴などさせて頂きました。

同じ趣旨で開催の会員大会では、ボーリングや懇親会に加えて、さらに前述の第二回教化研修会を併催して共に学ぶ機会を設けました。普段は葬儀等でお世話になってる会社の方々なども多く、こうした交流や共通の目的・問題意識を持つことで、お互いのより円滑な関係性構築の一助に繋がったのではないかと思います。

⑤終戦七十年平和祈念行持  
初の試みでしたが、節目の本年、戦争の惨禍を忘れず平和を祈り不戦を誓うべく「平和祈念の鐘」と称し県内各寺院で八月十五日正午に鐘打黙祷を実施。さらに県内の師範・詠範の方々と共催で梅花研修会に併催の形で慰霊・平和祈念法要を厳修出来ましたことは、まさに教化と行であり、会の垣根を越えての連携は非常に意義深いものであります。

## ③カンボジアへの教育支援

第二十一回目となるカンボジア教育支援チャリティバザー、例年のことですがその都度地元寺院様や寺族様の多大なるご協力があって実現しております。本年の会場が豪雨被害のあった古川西荒井地区に程近いにもかかわらず、教育支援という趣旨に賛同されて多くの来場者があったことは本当にありがたいことでした。

私自らを省みて、やもすると等閑にしてしまう恐れのある日々の檀務やご供養の場、年間を通じて各寺院行持こそ本来私共が最も大切にすべき教化の場であり、ご遺族や苦悩を抱えた方に寄り添い共に歩み続けることが、今求められる僧侶なのであらうと思っております。

宮曹青が主管するサンタピアアップみやぎボランティア会としては、通算十八校目となるボントリー小学校贈呈実現に向けての一年であり、どれも例年の行事ではありますが、カンボジアについての会員研修や、カンボジアフェアでの一般の方々への啓蒙や募金活動、書き損じハガキに加えての収入源となるカレンダー・三千部の作成販売など、年間を通じての様々な活動が結果として学校贈呈が叶えられたのであります。春彼岸開けには会員十九名にて現地贈呈式へ出向きます。カンボジアと支援者を繋ぐ菩薩行、今後も細く長く継続して参る所存です。

表現は不適切かもしれませんが、今大会を「大規模なご法事」と捉えて修行し、心の復興に寄与すべく、ご遺族もそうでない参加者も我々宗侶も全参加者が、七回忌法要で悲しみと安心を、復興祈念行持で喜びと希望を、共に分かち合い、追悼復興コンサートで心を一つにして「まごころに生きる」機縁となることを目指して開催する所存ですので、今後とも皆様には益々のご理解とご協力ご法愛を賜りますようお願い申し上げます。

## ④復興支援活動

合掌

# カンボジア教育支援

# 第21回チャリティーバザー開催報告

ボランティア委員長 千田 祥幹

去る10月1日、今回で21回目の開催となったカンボジア教育支援チャリティーバザーを、会場教区として快くお引き受け頂きました第8教区のご寺院様はじめ、青年会様、寺族会様、協力団体様のご理解とご協力のもと無事開催することができました。その地元教区の皆様中心のチラシ配布、新聞折り込みチラシ等の地道な広報活動のおかげで、当日は450人を超える方に来場して頂きました。中には5分程で完売してしまっただ商品ブースもあり、1時間足らずで全商品完売いたしました。

売場以外でも、会場の外では地元加美町社会福祉協議会によるポップコーン販売のブースを開いて頂き、当日の売り上げを全額サンタピアップへご寄付頂きました。他にも養育支援が必要な子供たちの援助を行っている「NPO法人みやぎ子ども養育支援の会」（代表木村孝禅師）、震災孤児支援活動を行っている「JET Oみやぎ」、石巻「ザッポーの会」のブースも開いて頂きました。一つの会場で様々な活動を行っている団体と一緒にバザーを開催できたことは非常に意義深いことと思います。

さらに今回は昨年9月に県内、北関東を襲った関東・東北豪雨災害への募金活動も呼びかけました。会場となった中新田体育館は豪雨で被



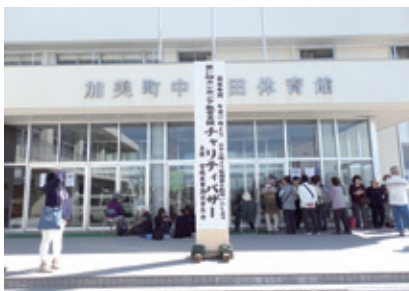
▶今年もたくさんのご来場を頂きました



▶中には5分程度で完売してしまっただブースもありました

害のあった大崎市の渋井川流域とも近く、来場者の中にも大変な目に合われた方もいらっしゃったことと思います。そういった中でも多大なる募金を頂戴いたしましたこと、心より感謝申し上げます。

今期の宮曹青のスローガン「自己を磨き、他に尽くさん」という思いのもと、バザーに向けて皆で準備に準備を重ね、来場頂いた皆様の為、ひいてはカンボジアの子供たちの笑顔のため、正会員一丸となって進めることができました。今回のこの経験を今後の活動へと繋げていくとともに、カンボジアのさらなる発展、東北の早期復興を心より願ひ、総括いたします。



▶会場となった加美町中新田体育館



▶前日の準備風景

開催日時	
平成27年10月1日(木) 午後12時整理券配布、入場 午後1時～午後2時(販売終了)	
開催会場	
加美町中新田体育館(会場教区:第8教区)	
参加者	
188名(前日準備含む延べ人数) 9月30日(準備会):90名、10月1日(当日):98名 ※会員、8教区御寺院様、8教区寺族会様、協力企業含む	
入場者	総売り上げ金額
450名(延べ)	1,366,900円
販売商品数	(商品売り上げ)1,349,500円 (豪雨災害会場募金) 51,157円 (サンタピ会場募金) 9,186円 (エコバック売上) 17,400円
5,650点	
※売上金は、全額サンタピアップみやぎボランティア会へ寄付	



## 平成27年度 第二回研修会報告

去る平成二十七年十一月二十六日（木）に仙台「林香院様」を会場に行われました第二回研修会は、正会員・賛助会員合わせて四十七名参加のもと大本山總持寺後堂で、愛知県・東泉寺ご住職前川睦生老師を講師にお迎えし実施致しました。

第一回研修会に引き続き「供養について」の実践編として、今回は「歎仏会声明」を学びました。

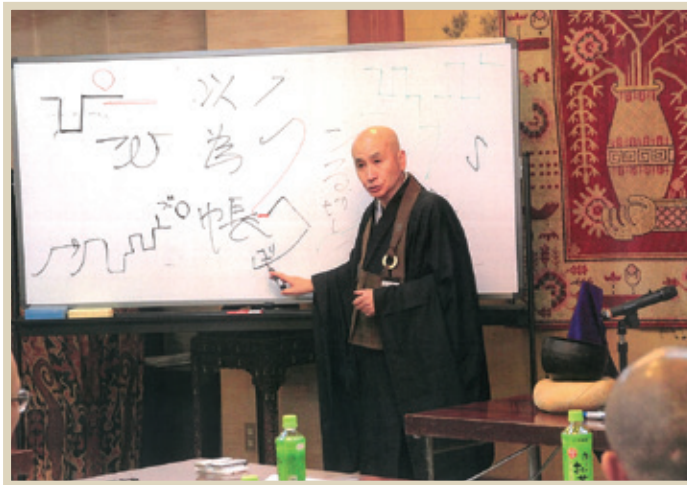
冒頭、前川老師より供養についてのお話があり、儀礼を行う意義や大切さなどをご教授いただき、その後、実際に声を出しながら声明の講習へ入り、〈散華の偈〉〈佛明〉などは声がなされるように白版に線を引いて、丁寧に指導していただきました。

習得するまでには相当な努力と時間が必要と感じましたが、参加者全員でお唱えすると心に響く荘厳さとありがたさを感じる事ができました。

研修最後の質疑応答の際には多くの質問がよせられ、講師老師はじめ受講者一同終始熱意あふれる研修会であったように思います。研修委員会と致しまして

は、来年度も引き続き前川老師講師の下、声明研修を継続し、宮城大会につなげていきたいと考えているところです。

最後になりましたが、ご多忙の中來仙くださった講師老師、会場をご提供戴いた林香院様、雨にも関わらず参加していただいた多くの会員の皆様に無事開催できましたことを感謝申し上げ第二回研修会の報告とさせていただきます。



# 傾聴行茶活動「ひとひととき」活動報告



平成二十七年年度第二回目の傾聴行茶活動「ひとひととき」は石巻大森仮設、役場前仮設の二か所の仮設集会所にて行いました。

これまで何度も青年会でお伺いしている仮設住宅で、昨年三月以来の訪問となりました。顔なじみの住人の方がほとんどで、お久しぶりですという和やかな雰囲気の中、青年会員に加え県婦人会様からも十一名の参加をいただき、総勢三十三名で活動させていただきました。

今回はアメリカンフラワーという一種の造花の作成を講師先生指導のもと住人の方に行って頂きました。細かい作業が多く予定していた時間通りに進まなかったなど反省すべき点や、特に高齢の方などに大変な作業をさせていただきましたが、作品が完成した時には皆さん笑顔で喜んでくださり、こちらも安堵いたしました。

また前回の南方に続き長尾靖樹師中心に耕徳寺様台所をお借りし、炊き出しを行いました。活動場所が二か所ということで配膳も難しい面がりましたが、こちらも皆さんに美味しいと喜んで頂きました。

第三回目の活動は多賀城市山王仮設、野球場公園仮設の二か所で行いました。こちらは何度もお伺いしている仮設住宅です。お持ちしたケーキと一緒に食べながら、キーホルダー作りや写真、写経等を行って頂きました。これまでのひとひととき

を経験されていらっしゃる方ばかりで、こちらから細かい説明をする必要もなくスラスラと書いていらっしゃる姿が印象的でした。

仮設住宅の住人の方の減少により、初めてお伺いした数年前に比べると集会所に来ていただく方の人数もだいぶ少なくなりましたが、その分お一人お一人と腰を据えて話をすることができました。あるご婦人は震災当時の様子を昨日のことのように目に涙を浮かべながら話してください、いま生かされていることへの感謝を何度も何度も口にしてらっしゃいました。

皆さんのお話を伺うと、復興公営住宅の抽選、引っ越し等進んでおり、仮設住宅で築いたコミュニティが崩れてしまうなど、様々な問題を抱えてらっしゃいます。

私たちができることは、少しでもその方たちの話に耳を傾け、寄り添い、仮設住宅にお一人でも住人の方がいらっしゃるうちは「自己を磨き、他に尽くさん」の精神のもと、傾聴活動を続けていくことだと思えます。それと並行し、これからのニーズに合わせたどのような活動ができるかも模索して参りたいと思います。



## ①日時・活動場所(今年度2回目)

平成27年11月11日(水) 11時より  
 ◎仮設役場前団地(石巻市鹿又字役場前43)  
 ◎仮設大森団地(第三団地集会所)(石巻市大森字内田1-51)

### 【活動内容】

アメリカンフラワーの作成。長尾研修副委員長中心に炊き出し(献立:うどん、いなり寿司)  
 正会員21名、県婦人会様(9教区円通院婦人会様7名、11教区潤洞院婦人会様2名)  
 濱田講師先生、洞雲寺寺族、宗恵寺寺族。来場者大森22名、役場前17名

## ②日時・活動場所(今年度3回目)

平成28年2月24日(水) 13時より  
 ◎山王市営住宅跡地応急仮設談話室(多賀城市山王山王4区169)  
 ◎多賀城公園野球場応急仮設集会所(多賀城市鶴ヶ谷1-6)

### 【活動内容】

キーホルダー作成、写経等。ケーキを提供  
 正会員15名。来場者山王9名、野球場11名。



# 東日本大震災

## 被災地慰霊行脚並びに大川小学校追悼法要 『亡き人への手紙』お焚き上げ供養

平成二十八年三月十一日(金)宮曹青・全曹青共催東日本大震災被災地慰霊行脚、及び大川小学校慰霊追悼法要(遺族会主催法要に随喜)を無事に修行して参りました。当日は石巻市海蔵庵様別院にて集合をし、大川地区、雄勝地区、北上地区の三コースに分かれ、地元御寺院様や慰霊碑の前で、ご供養しながら行脚致しました。

宮曹青から二十九名、全曹青各県曹青三十二名、合計六十名の僧侶が参加しました。この日は気温も低く、とても肌寒い日でした。大川地区を行脚途中で皆様からお寄せいただいた『亡き人への手紙』をお焚き上げ供養いたしました。

大川地区



慰霊法要風景





## 北上地区



## 勝雄地区



## 角田地区



角田の自照院様にあります、東日本大震災慰霊碑「活動の灯」で復興慰霊法要を全国曹洞宗青年会会長安達瑞樹師導師のもと厳修し、全曹青執行部九名、自照院護持会役員三名、自照院梅花講二十五名の参加がございました。



## 被災各県法要報告

### ◆岩手県の慰霊法要

東日本大震災から五年となる三月十一日、東北の被災三県各曹洞宗青年会主催において慰霊法要が執り行われました。全国から多くの曹洞宗青年会員等が慰霊のために参集されました。岩手県には全曹青会長のもと全曹青事務局、委員等をはじめ、青森、福島、曹洞宗、曹洞宗支援分室及び会場寺院方丈様の同安居有志の方々、東北地区曹洞宗青年会連絡協議会事務局員として宮城から二名が参加致しました。常楽寺様、江岸寺様、龍泉寺様、吉祥寺様の各寺院を会場に、岩手曹青の会員が各班に分かれて法要並びに慰霊行脚等を行いました。



東北地協 小枝誠智

午後からは山田町の龍泉寺様での法要に随喜させて頂きました。「活動の灯」塔前での諷経。震災慰霊法要。二時四十六分にあわせての黙禱。行茶を行いながらの傾聴活動に参加致しました。法要では手作りの燈明を灯し、堂内の電気を使わず口ウソクの灯火を用いたの略敷仏、御詠歌を奉詠し、厳粛な震災慰霊法要となりました。

「東北はひとつ」願うべきは同じ空を見上げて祈り、何が出来るかを考え、曹青会員として共に活動していくことかと思えます。

### ◆福島県の慰霊法要

福島県では震災から五年を迎え、北は相馬市から南は浪江町まで計七箇所での慰霊法要が行われ、天気には恵まれたもののまだまだ寒いなか多くの人がご焼香に参列されました。

青年会僧侶の参加者は県内のみならず、山形県や栃木県からも集まり六十名ほどになりました。

また、NHK「サラメシ」の取材も入りました。



法要の他には相馬市原釜尾浜に新設された伝承記念館の見学、被災された寺院の青年会会員や実際にご遺体をお世話された納棺師の方から当時の状況を伺うことも出来ました。

現在の復興状況を肌で感じ、祈ることが知ることになり、知ることが祈ることとなる、そのような慰霊法要であったと思います。



## 第一回教化研修会報告書

委員長 神作 紹道

参加人数 計45名



平成二十七年十二月十三日、ホテルニュー水戸屋を会場に第二十四期特設教化委員会、第一回目の研修会が開催されました。講師には行政書士・ファイナンシャルプランナーとして主に終活分野全般の相談に応じ、法人向けには宗教法人の経営計画、社団・財団の公益認定等をされている勝 圭子さんをお招きし「生老病死苦をわかってあえる聖域Ⅱ寺院を守り抜こう」と題して講義いただきました。

冒頭に、現代社会で疲弊した人々を救えるはずの寺院に人々が集まってこない問題点を指摘され、その背景には資本主義社会の競争原理が寺院に取り込まれすぎていること、また競争社会が激化し地域の中で自分や家族のことを気軽に話せる環境が少なくなってしまうこととを原因としてお話しされました。そのような競争社会から取り残され孤立した人など、寺院に目が向こうとしている人が咀嚼しきれない教化ではなく、現代の人々の需要に沿った教化をしていきたいと思います。提言され、では、どのようにすれば良いかというところを具体的な方法を提示しながらお話しされていきました。そして、その教化が今すぐ、寺院の経営に反映されることはないかもしれないけれど、未来への仕入れであると理解して活動なさってくださいれば、生老病死苦を語り合える地域が生まれることになり、寺院は必要とされ、曹洞宗の発展に寄与できるのではないかとお話しいただきました。

行政書士、FPとして首都圏で活動されている中で見えてきた寺院への問題点や疑問点から答えを導き出しておられ、我々地方の僧侶としては納得できる部分と、正直咀嚼しきれない部分がありましたが、寺院の未来について考え、教化していくことの難しさを再認識する、良いきっかけとなった研修会であったことをご報告申し上げます。



## 第二回教化研修会報告書

副委員長 井上 寛尚

参加人数 計68名

平成二十八年二月二日、ホテルグランテラス仙台南分町にて二十七年年度会員大会第一部として第二回教化研修会が開催されました。講師には栗原市普門寺副住職・臨床宗教師の高橋悦堂師をお招きし、「僧侶として生死に向き合う〜臨床宗教師の現場から〜」と題し、講義を頂きました。

初めに、高橋悦堂師の臨床宗教師に関わる経緯を、ご自身の経歴や「臨床宗教師の活動(ETV)」の映像と共にお話されました。

「僧侶として衆生に何が出来るか」の問いに、岡部健氏との出会いと東日本大震災の経験から臨床宗教師としての道を歩み始めた高橋師の在宅ケアの実体験、臨床宗教師の研修カリキュラムや独自の規則を紹介いただきました。臨床宗教師の規則の内容には宗教師としての立場はもとより、(人として)人々の尊厳を失うことなく衆生に寄り添うこと、人々の生死に対し、より具体的に、より直接的にかかわる重要性や、臨床に関わる職種の方々と宗教関係者、各々ができないこと互いに連携しケアしていく必要性が理解できました。また、ご家族や医療スタッフへのケアをすることにより、死と向き合う患者さんやその周りをもケアができるという医療界からの希望などもうかがい知ることができました。



第2部ボーリング大会(97名参加)、第3部の懇親会(100名参加)では前年よりも多い会員様の参加がありました。新規会員になられた3社も参加していただき会員相互の親睦を深め、終始和やかな雰囲気での盛会裏に終了しました。

交流事業委員長 根本 秀逸





# 教化活動

青少年教化委員

## ビーブレイブ



廣禪寺副住職  
内藤 米松 師

夜半過ぎに急に目覚めることがある。特に稽古が長引き、報告書をまとめあげて床についたのが深夜になった時など。そんな時は漠然とした不安にとらわれる。今、自分たちが精力をつぎ込んでいるこの活動に意味はあるのか、と。

思えば真夜中に不安に震えているのは自分だけではないだろう。学校や社会でイジメに会い、明日が来るのを怯えて待つ人達がいる。彼らはこのような寝むれない夜を毎日のように繰り返しているのかもしれない。

青少年教化員の活動の一つとして、ビー



ブレイブが発足してからもうすぐ七年になる。イジメに立ち向かうと大言壮語して演劇活動が続けてきたが、果たしてどれほどの実を結んだだろうか。残念だが、満足できるほどの結果は得られていないように思う。学校では毎年のようにイジメを苦に自殺する子供たちがいて、毎日のようにイジメを受けて苦しみながら生きていく子供たちがいる。些細な悪意は今日も生まれ、大きなうねりとなり個人を打ちのめしている。一方メンバー達のことを考えると、公私とも忙しい中何か職務を調整し、各青年会の役職の合間を縫って力を貸してくれているのだ。この活動を決して私の自己満足で終わらせてはいけない。

しかしどうだろうか。自分にとって生まれてこのかた、これほどイジメとしっかり向き合った月日もなかったと思う。イジメられる役を演じ、イジめる役を演じ、そしてまたイジメを傍観する役を演じてきた。脚本の

文言にも細心の注意を払い、演出もイジメの被害にあっている人を傷つけないように配慮してきたつもりだ。その積み重ねで、心の中にイジメを絶対に許さない心とイジメが生まれる背景の理解を自分なりに構築できたと思う。

そう考えると、この月日はとりもなおさず自分自身への教化の日々であったと思う。換言すれば、やつと人への教化のスタートラインにたったばかりだとも言える。願わくは、他のメンバーの心にも同じような変化が起きていますように。簡単に世の中は変えられなくとも、私た

ち自身が変わることで少しずつイジメを取り巻く環境を変えていけるのだと、ひそかに信じている。





宮曹青主管 カンボジア教育支援活動

## サンタピアップみやぎ

## ボランティア会

### 新校舎「ポンレイ小学校」を寄贈

#### 「カンボジアスタディツアー開催」

● 平成二十八年三月二十八日～四月一日

● 参加者十九名

この度、通算十八校目の小学校を贈呈させて頂くことが出来ました。詳細は後日発行致しますニュースレターにてお知らせしますとともに、

サンタピアップ総会時の報告会では、映像を交えて現地での様子をお伝え致します。



#### 「平成二十七年年度支援内容」

1棟三教室校舎・祠・文具品・スポーツ用品等

### 「カンボジアフェア in SELVA」開催報告

● 日時：平成二十七年十二月七日～九日

● 会場：仙台市泉区中央「SELVA」二階

● 来場者：約二〇〇名（三日間延べ）

● スタッフ：四十九名（三日間延べ）

ご来場の方には、ホシヤマ珈琲店様提供の美味しい珈琲を飲みながら、小学校贈呈式の様子などの映像もご覧いただきました。

クラフト販売 売上合計 一〇七,二三八円  
募 金 募金合計 四五,二四八円  
古本・CDなど 沢山



### 各イベント等での活動

#### 「サンタピアップブース設置」

各会場にて活動紹介・カンボジアパネル展示・クラフト販売・募金活動などをさせて頂きました。

◆ 「法山寺幼稚園夏祭り」 平成二十七年八月二十二日

於 石巻市法山寺幼稚園

◆ 「宮城県梅花流奉詠大会」

平成二十七年九月十六日

於 仙台市体育館

◆ 「金蔵寺フェス」

平成二十七年九月二十七日

於 石巻市金蔵寺

◆ 「曹洞宗青年会東北地方集会岩手大会」

平成二十七年十一月四日

於 ホテルメトロポリタン盛岡



### 「もったいない」そのころが、子供たちの明るい未来につながる 「ハガキリサイクルキャンペーン」中間報告

この一年間で皆様に収集頂いた書き損じハガキと切手の集計作業を行いました。全国の御支援者様より沢山のご提供頂き誠に有難うございます。

● 日時：平成二十八年二月二十六～二十七日

● 会場：サンタピアップ事務局

● 集計作業：参加三十三名（二日間延べ）

#### 「集計結果」

書き損じはがき 合計二〇,三七八枚

切手 合計一〇一四枚

（額面換算計）〇三,八七九円

古本・CDなど 沢山

寄付金 合計一四,九四六円



皆様からお寄せ頂いた書き損じハガキや切手は、新しいハガキや切手に変えて県内御寺院様や団体企業様にご購入頂き、その売り上げをカンボジア教育支援費として活用させて頂いております。

### 「オリジナル卓上カレンダー2016」完売

今年度は三,〇〇〇部を目標に作成致しました。

カレンダーですが、お陰様で無事完売となりました。

こちらの収益も教育支援費として大切に活用させて頂きます。

「制作販売数」

三,〇五三部（部 三〇〇円）

売上合計 九五,九〇〇円

### 「古本・CDリサイクル」による支援

皆様のご家庭に、不要になった漫画や文庫本・CD・DVD・ゲームソフト等はありませんか？

あの頃、大切にされたこの本をもう一度役立たせたい……

是非とも私たちにお譲り下さい！！

詳細はホームページ、又は事務局までご連絡下さい。

#### ■書き損じハガキ・切手の送り先

〒九八六・二一九九

石巻市渡波町一・八・一

渡波郵便局留「サンタピアップ」宛

#### ■支援金の送り先

郵便振替口座

名義 サンタピアップみやぎボランティア会

口座番号 02290-6-48744

#### ■サンタピアップ事務局

〒九八六・〇〇一五

石巻市吉野町一・四・九 多福院内

TEL/FAX

〇二五・九八・四四八二（専用）

E-mail info@santapi.com





## 戦後七十年平和祈念法要 並びに慰霊法要

平成二十七年八月三十一日松島「大観荘」にて戦後七十年平和祈念法要並びに慰霊法要を梅花流宮城師範会・宮城県梅花流研究会・宮城県曹洞宗青年会共催により厳修いたしました。当日は宗侶三十四名に詠範三十二名の方々に参加いただきました。

平和祈念法要の導師に宮城県曹洞宗青年会北村暁秀会長、慰霊法要の導師に永松隆賢師範会会長にお勤めいただき、詠範の方々にも献花や御詠歌をお唱えいただきました。



## 第四十回曹洞宗青年会 東北地方集会「岩手大会」報告

平成二十七年十一月四日(水)盛岡市ホテルメトロポリタンNEWINGにおいて第四十回曹洞宗青年会東北地方集会 岩手大会「喝」が開催されました。

記念講演 「受戒の現代の問題性」現代における宗門の根本問題」

青森県 恐山菩提寺院代 南 直哉老師

記念公演 シンガーソングライター 松本 哲也氏

当日は東北各県曹青会員一六〇名が来場され、当会から十九名が参加いたしました。

尚、今年の大会は、十一月九日(水)仙台サンプラザホールにおいて開催いたします。



## 事務局だより ～今後の予定～

### ◆定例総会

日時／四月一九日(火)午後二時  
場所／ホテルニュー水戸屋

◆曹洞宗東北管区教化センター設立四十周年記念事業  
「祈りの道」～慰霊行脚と復興祈願～  
日時／行脚 五月六日(金)～五月十一日(水)～

### ◆全曹青定期総会・中央研修会

復興祈願法要 五月十一日(水)午後二時  
場所／石巻市渡波 洞源院  
日時／五月十七日(火)  
場所／曹洞宗檀信徒会館

## 編集後記

広報編集に携わり一年が経とうとします。中々慣れない編集作業に四苦八苦しながらもここまでやってまいりました。

今年度は教化といたしまして会員さんの教化活動をテーマに特集をさせていただきました。二十八年度は違う特集をさせていただく予定でございます。

十一月には東北地方集会「宮城大会」が開催されます。大会にあたり沢山の方に広報させて頂く為にフェイスブックページを開設し、ホームページと連動して運営管理していきます。

今後また皆さんの行事等がございますので、しっかりと広報編集活動を行っていきたく思っております。

広報編集委員長 伊達吉信

### 表紙写真



慰霊行脚 大川地区



## 無聖第72号 (平成28年4月10日発行)

表紙題字 宗務所長 小野崎秀通 老師  
編集 宮城県曹洞宗青年会  
発行人 北村暁秀  
事務局 宮城郡利府町菅谷字南熊ノ前41 道安寺内  
TEL・FAX 022-356-2654(専用)  
U R L <http://miya-sousei.com>  
e-mail [info@miya-sousei.com](mailto:info@miya-sousei.com)